

# JSN

News for Members

3



代表理事ご挨拶・WCN2017、第58回学術大会について・第59回学術大会のご案内・日本神経学会賞等受賞者ご紹介・海外派遣プログラム支援者のご紹介・サマーキャンプについて



## 第59回日本神経学会学術大会について

# 神経疾患の克服を目指して

Overcome the Challenges of Neurological Disorders



第59回日本神経学会学術大会 大会長

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野

神経内科学教室 特任教授

佐々木 秀直

(ささき ひでなお)

*Hidenao Sasaki*

### ご挨拶

第59回学術大会のテーマは「神経疾患の克服を目指して」(Overcome the Challenges of Neurological Disorders)です。“神経内科の病気は治らない”と思われていますが、治る病気は着実に増えています。そこで、当大会では、新しい疾患概念、早期診断、新しい治療法、治療法開発、病態解明研究、コホート研究などこれからの神経疾患医療に大きな変革をもたらすものを重点的に取り上げてみました。Plenary lectureにはM.Rossor先生から認知症克服への取り組みについて、G.Wenning先生からはMSA克服への戦略について、特別講演には満屋裕明先生よりHIVの治

療法開発について、御講演を頂く予定です。これらアカデミックな話題に加えて、慢性疾患の療養や医師の過労問題、指定難病、専門医制度など、神経疾患医療を取り巻く現実の“泥臭い”話題も取り上げています。神経内科が国民の神経疾患医療を担う基幹診療科としてその足場を真に確立するためには、診断学から治療・予防学へと脱皮し発展してゆかなくてはなりません。私たちは、今その入り口に立っていると確信しています。参加者の皆様に、その時代の変革の息吹を感じて頂き、これからの神経内科の進むべき道に思いを巡らせて頂ければ幸いです。

### 参加者の皆様へ

皆様に三つ、お願いがあります。

第一は、発表に活発な討論をお願いします。学術大会の最も大切な役割として、会員に研究発表の場を提供することがあります。そこで、演題発表と討論に集中できるように、発表の時間帯には他の企画を配置していません。参加者の皆様は、是非、発表会場に足を運び活発な討論をお願いします。

第二は、国際交流の促進です。東アジア諸国を中心に海外からたくさんの演題応募があります。そこで、シンポジウム、発表、ポスター発表には英語での発表の場を設けています。是非、この機会に国際交流の機会としてご活用ください。特にEast Asian Neurology Forum 関係の企画では、フラビウウイルス感染症をテーマとしてシンポジウムを企画しました。その理由は、神経感染症であること、日本を含めて東アジアが多発地帯であること、温暖化に伴い流行地域が北上していること、その例として北海道ではダニ媒

介脳炎感染者の報告が相次いでいることなどがあります。北大人獣共通感染症センターと共同して企画しています。また、英語圏からの参加者のために、International Education Courseを3日間にわたって企画しています。共催セミナーにおいても英語セミナーの企画に配慮しています。

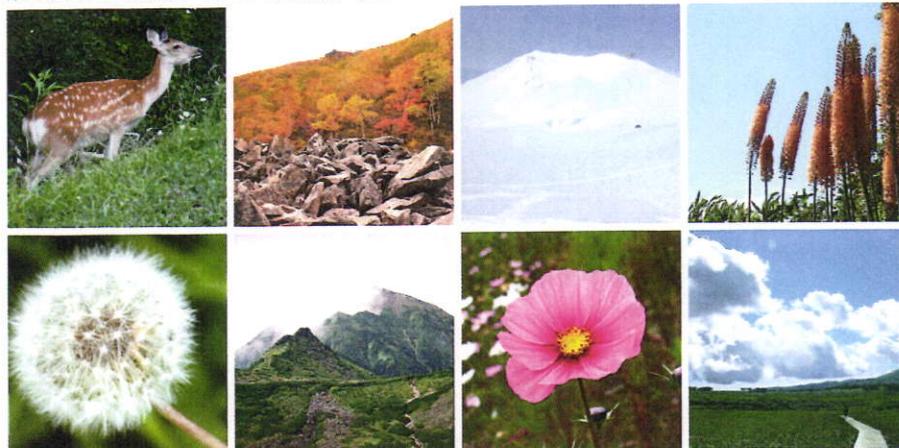
第三は会期後半に参加される皆様へのお願いです。

5月26日には学生、メディカルスタッフ、開業している会員や皆様を対象に、研修や診療に役立つ企画を優先的に企画しています。この機会を研鑽の場としてご活用頂けましたら幸いです。



## 第59 回日本神経学会学術大会について

第59回学術大会会長 佐々木 秀直教授が撮影された北海道の雲、光、風を感じる写真



### WCN2017での経験とプロモーション活動

昨年京都で開催されたWCN2017は、海外参加者も含めて今までのWCNでは最も多い参加者数と聞いています。国際的にも京都の魅力は大きいと実感しました。企画・運営に尽力された方々に敬意を表します。

第59回札幌大会の広報を目的にWCN2017でPRブースを出展したところ、アジア諸国の方々が多数立ち寄ってくれました。北海道への関心の高さを感

じました。

当日は大型台風の来襲に気を揉みましたが、無事に終わって何よりです。私はTropical Neurologyに関する企画を選んで参加しました。殆どが海外からの参加者であり、そこには日本とは異なる神経疾患医療の姿がありました。

### 北海道の魅力について

北海道は空が高く、空気も澄んでいます。札幌には大都市特有の閉塞感や忙しさがありません。緑が多く、都心を少し離れるだけで田園が広がり豊かな自然に触れることができます。近郊の森には小動物や鳥に加えて、鹿やヒグマも生息しています。街中を流れる豊平川にはサケが遡上します。5月初旬には桜と梅が

一緒に咲き、下旬はリラが咲きます。食材も豊かで、寿司や海鮮料理が有名です。札幌ラーメン、スープカレー、ジンギスカンなどもこの機会に是非お楽しみください。藻岩山からの夜景、蒼い積丹半島の海、支笏湖もおすすめです。

